

山と川と田園の風景に
歴史を感じながら

津市安濃町 連部・今徳・妙法寺 付近

津市安濃は歴史の深い場所。古代の遺跡や平安時代の社寺、中世の山城、江戸時代の物語などさまざまな歴史が重なっています。その重なりを包み込むように、穏やかな山川と田園が織りなすのびやかな風景が広がっています。

今回は、津市安濃町の南部、村主小学校南門前から出発し、穴倉川を渡って県道411号を歩き、丘の上の大市神社に上り、川の対岸に広がる田園の中を通過してスタート地点に戻るコース。神社の石段以外は平坦で歩きやすい道です。

取材 文：堀口裕世

至近距離に3つの時代

津市立村主小学校南門前の広場で待ち合わせて、スタート。門を背にして右側・南西の方向に歩き始めます。歩き始めてすぐ、最初の信号の手前で小林会長が立ち止まりました。「今は埋め戻されていますが、ここは『ゆふけ遺跡』です。ここでは、縄文時代後期の土器や竪穴式の住居跡などが発見されています。この付近には古い住居跡などがたくさんあるのです」。

古代の遺跡に思いを巡らせながら信



土器などが見つかった「ゆふけ遺跡」



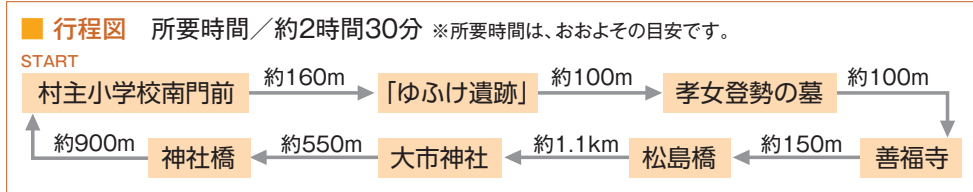
「孝女登勢の墓」



善福寺



毘沙門天立像の収蔵庫



号を渡ると、今度は右手の細い道に入り、「孝女登勢の墓です」と坂中さん。「江戸時代に実在した女性で、さまざまな苦勞を乗り越えて養父母に尽くしました。その話が当時の藩主・藤堂高兎公に伝わり、米などのほうびを賜り、その後も年貢のかからない田畑を与えられたということなんです」との解説を受けて、「天保11(1840)年に登勢が亡くなると、郡奉行だった平松樂斎の進言で、家の敷地内にこの墓を建てました。昭和16(1941)年には県の指定史跡となり、明治35(1902)年には津市の偕楽公園にも碑

が建てられています」と前田さん。「親孝行は大事だと、子どものころにはよく聞かされたものです」と話が弾みます。お墓の前の路地を進んで行くと、善福寺に出ます。「平安時代後期の毘沙門天立像が安置されています」「土の中に埋まっていたのを掘り起こし、このお寺に安置したといわれ、国の重要文化財に指定されています」年に一度、1月の最終日曜にだけ、ご開帳されますとのこと。ほんの短い距離の中で、縄文、江戸、平安と3つの時代の物語に出合えま



通称・松島橋を渡る

点在する山城跡を見ながら

善福寺の門前の道に続く、細い橋を通って穴倉川を渡ります。「この橋は通称・松島橋。昭和初期に松島弥三(やま)三(さん)の寄付でできた橋で、その後架け替えられています。隣にかかる大きい橋は、「連部今徳2号橋」。これを渡ると今徳に入ります。「この付近には、中世の山城跡がいくつもあります。右手に見えるこんもりとした森は連部城跡。もう少し正面寄りの家並みの中、南光寺の裏手には今徳城址



巨大なイノシシの像が目印

の碑があります」。四つ角を左に曲がり、県道411号の側道から本線に入ります。「前に見えるのが長谷山(せやま)。昔は櫛形(くしがた)山と呼ばれていました。真横から見ると櫛の形に見えるでしょう」と説明を聞きながら田園風景の中をしばらく歩くと、大きなイノシシの造り物が飾られている会社の前に出ます。この会社の前には横断歩道を渡り、右手の細い道を進んで行くと、丘のふもとに出ます。

神社の下の桜並木

この丘の上にあるのは大市神社。対り、ここで県道を渡って、近くにある神社橋を渡ります。

右手に浄土寺南遺跡

川を渡って、田園の中を進む道は、気づかないほど緩やかな下り坂。坂の途中からふたたび連部地区に入り、スタート地点に戻って行きます。

道の右手は広大な田園風景。小林会長が立ち止まり、「この辺りは浄土寺南遺跡といって、あの小高くなっているところから円面硯(えんめんいん)や緑釉陶器(りよくわう)・土器がたくさん出土しました。奈良時代の建物の遺構や井戸桁なども見つけたり律令制下の郡の役所・郡衙(ぐんが)だったのではないかと



大市神社の鳥居と狛犬

の狛犬の間に、長い石段が続いています。「左手奥には、軽トラックが通れる坂道がありますので、階段が苦手な方はこちらからどうぞ」とのこと。「大市神社は、延喜式に載る古い由緒のお社で、もとは別な場所にありましたが、慶長5(1600)年の関ヶ原の戦いに関連した戦乱で焼失し、この地に祠を建てて再建したといわれています」。石段を上り終え、拜殿前で神様にご挨拶。すると「ここにはあまり知られていない小さな狛犬さんがいるのですよ」と、前田さん。拜殿の左手をめぐって本殿の横に行き板垣



本殿前にひっそりと小さな狛犬が



穴倉川に架かる神社橋



大市神社の常夜灯



見晴らしの良い田園風景の下に遺跡が

カーブし、家並みが続きます。小学校が近づき、子どもたちが明るい声で「こんにちは」とあいさつしてくれるのいうれしい気持ちでこたえながら、のどかなまち歩きはゴールを迎えました。

問 安濃ガイド会「草陰」

安濃総合支所地域振興課

TEL 059-2668-5511